報道資料

静岡市

静岡市歴史博物館
Shizuoka City Museum of History

（令和７年３月６日発表）

トピック展示「今川家臣　三浦氏の古文書」の開催

◆ｱﾋﾟｰﾙﾎﾟｲﾝﾄ	・「三浦文書」は今川家臣の三浦氏に伝来した文書群で、今川氏歴代当主の発給文書などがまとまった形で伝承した、大変貴重な歴史資料です。 ・静岡市歴史博物館では、今川氏に関する資料の収集を行っており、本資料は令和４年度に購入し、令和５年度に修復を行い、調査研究を進めてきました。このたびトピック展示「今川家臣　三浦氏の古文書」にて一部を初公開します。
◆期　間	令和７年3月 11 日（火）～4月 20 日（日） 開館時間　９時～18 時（展示室入場は閉館 30 分前まで）、月曜休館
◆場　所	静岡市歴史博物館　３階基本展示室内　（葵区追手町４番 16 号）
◆内容など	【資料名】「三浦文書（みうらもんじょ）」（戦国～江戸時代）古文書 26 点、懸紙（かけがみ）9 点のうち、今川義元判物（いまがわよしもとはんもつ）ほか　計６点を展示予定 【資料概要】 ・戦国時代に今川氏の重臣をつとめた三浦氏に伝来した文書群で、東京大学史料編纂所、静嘉堂文庫に所蔵されている写本の原本と考えられます。 ・今川氏歴代当主（氏親（うじちか）・氏輝（うじてる）・義元（よしもと）・氏真（うじざね））の発給文書や、北条氏・武田氏から受給した書状が大部分を占め、特に三浦氏の所領支配や、今川氏滅亡前後の動向を知ることができます。 ・購入時は巻物に 26 通の古文書と９通の懸紙（包紙（ほうし））が貼り付けられていましたが、令和５年度に修復作業をおこない、古文書を１枚ずつ剥がし、当初の姿に復元しました。
◆その他	【基本展示観覧料】 ・一般：600 円、高校・大学生、市内居住の 70 歳以上：420 円、小中学生：150 円（但し、市内居住・通学の小中学生・未就学児は無料）

別紙資料　有

イベントカレンダーへの掲載　有

ぜひ取材を
お願いします

【資料・展示に関する問合せ】
静岡市歴史博物館学芸課
担当：鈴木・宮崎
電話：０５４－２０４－１００５

【広報一般に関する問合せ】
歴史文化課（静岡庁舎新館 16 階）
担当：川口・國島
電話：０５４－２２１－１５６９

【別　紙】

静岡市歴史博物館トピック展示「今川家臣　三浦氏の古文書」主な展示資料

（展示期間）令和７年3月 11 日（火）～4月 20 日（日）

（1）今川義元判物（いまがわよしもとはんもつ）

天文八年（1539）八月朔日

【概　要】

今川義元が今川氏一門の瀬名氏の領地だった遠江の浅羽庄（袋井市）を三浦弥次郎（元政）に与えた文書。「浅羽」の文字に摺り消しが確認できる。

※判物：花押をもって所領安堵を行った文書

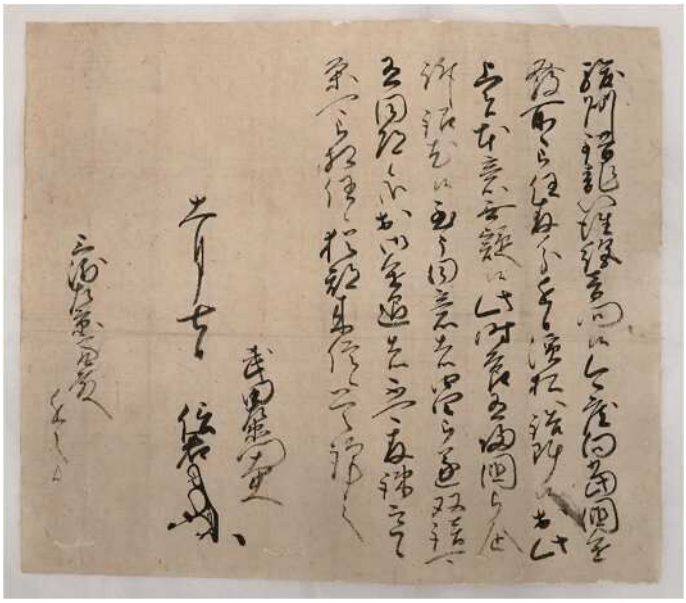
（2）今川氏真感状（いまがわうじざねかんじょう）

元亀三年（1572）正月十九日

【概　要】

武田軍が駿河へ侵攻した後、三浦元政が駿府（静岡市葵区）から懸川（掛川市）まで氏真の供をし、懸川城の大手で敵を撃退したことを今川氏真が賞した上で、今後はどこへ奉公しても良いことを伝えた文書。

※感状：部下の戦功を賞して与える文書



（3）穴山信君書状（あなやまのぶただしょじょう）

元亀三年（1572）十一月七日

【概　要】

三浦元政が今川氏真の下を離れた後、武田氏一門の穴山信君（のぶただ）が駿河への帰国と武田氏への従属を元政に呼び掛けた文書。元政はこの後、信君の求めに応じて武田氏に仕えた。

※展示についてのお問い合わせ　静岡市歴史博物館（054－204-1005）担当：鈴木、宮崎